

めいわ議会だより

大淀ふれあいキャンプ場安全祈願祭



特集

視察レポート …… P2

目次

- 特集 視察レポート …… P2
- 委員会ダイジェスト …… P3
- 第2回定例議会 …… P4
- 一般質問 …… P5～9
- 傍聴に来ませんか！ …… P10
- その後、どうなった？ …… P11

NO. **165**
6月議会号

特集

視察レポート

視察の成果を町政に！

教育厚生常任委員会は5月18～19日に、総務産業常任委員会は5月26～27日に現地視察に行き、それぞれの調査・研究を行いました。

教育厚生常任委員会

～空き家対策

～先進地事例について～

伊賀市

伊賀市は人口約93,300人、面積558.23km²の市で、「伊賀市空き家等対策計画」を平成28年5月に策定しました。

基本目標を実現するための重点目標として「伊賀流空き家バンクの構築」と「推進体制の構築」を掲げています。伊賀流空き家バンクとして、住宅診断制度の構築、建物本体の適正価格を算定するための不動産鑑定制度の構築、業務協定団体と連携した利用者支援制度の構築、市職員と不動産事業者共同の物件見学会の開催と移住者支援、移住コンシェルジュによる移住前から移住後までの支援を伊賀市独自に構築しています。これらのことを参考に、空き家対策に取り組んでまいります。

総務産業常任委員会

～6次産業の
取組みについて～

NPO法人山菜の里いび

岐阜県揖斐郡揖斐川町にある「山菜の里いび」は耕作放棄地が増え、里山の景観と機能維持のため、再生農地を借上げ、野菜や山菜を栽培・収穫して都市交流活動につなげ、地域の活性化に寄与するため平成21年に法人化されました。以降、農業経営を改善。地元雇用を増やし地域資源を活かしたグリーン・ツーリズム事業を展開、年間を通じた安定的な収入と雇用の確保のため付加価値の高い商品開発に取り組んでいます。



「山菜の里いび」にて

わが町も6次産業の発展のために参考にできるところは取り入れ、更なる検討をしていく事を痛切に実感しました。

～耕作放棄地への
取組みについて～

愛知県北設楽郡 東栄町

東栄町は愛知県の東北部に位置し、人口は約3,300人、総面積は123.38km²の町です。

農地面積は約484haで、そのうち耕作放棄地は108haあり、全体の22.3%を占め山林化しているとのこと。耕作放棄地活用としては、中山間地直接支払事業及び多面的機能支払事業を町内4箇所を活用している他に2団体が活動しています。

また、総務省の制度を利用した「地域おこし協力隊」を結成。平成25年度から任期2～3年で毎年隊員を採用、5年間で9名が活動、4名が定住しております。活動内容は、約2,000m²の休耕地を借受け、主にハーブ類の栽培をされています。明和町の農業政策のあり方及び耕作放棄地対策についてこれらのことを参考に、取り組まなければならないと思いました。

～健康づくり調査について～

NPO法人熊野で健康ラボ

世界遺産熊野古道をフィールドに、ドイツの「気候療法」を取り入れ、独自開発した熊野メソッドによって地域資源を活用した健康プログラムを運営されています。

そして地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として戦略の策定、着実に実施するための調整をしているそうです。この視察により「明和町型ヘルスツーリズム」のあり方や健康プログラムの構成等について考えてまいります。



意見交換の様子（伊賀市）



第35回全国町村下水道推進大会

委員会 ダイジェスト

委員会の主な内容です

伊勢街道まちづくり会が 表彰される

総務産業常任委員会

- 『史跡斎宮跡・伊勢街道まちづくり会』の皆様が、まちづくり功労者国土交通大臣表彰を受けました。
- 公共施設等総合管理計画の説明を受けました。今後も総合計画に基づき、管理を行っていくよう要望しました。
- 津波避難タワーの進捗状況の説明を受けました。本年度は、川尻・行部の2基を完成する予定です。
- 日本酒プロジェクトの状況の説明を受けました。現在、価格は1本3千円。もう少し価格が安くなるよう要望しました。
- 下御糸漁港の進捗状況の説明を受けました。町単事業の予算をより多くつけていただくよう要望しました。
- 7月6日、明和町で『全国下水道推進大会』が平安の杜西脇殿・いつきのみや地域交流センターで開催されました。
- 宮川流域関連公共下水道事業の今年度工事予定の説明を受けました。
- 指定金融機関の見直しについて選定委員会を作り、9月に決定します。

第76回国体に向けて

教育厚生常任委員会

- 町民バスの利用状況についてコース別等の詳細説明を受け、町長より、町民バスの乗車率が下がっており、受託事業所と共に再検討を行うと説明を受けました。
- ヘルスツーリズムについての取組状況説明があり、商品化するなら、いかに明和町に宿泊していただくかの対応を問、空き家対策も含め滞在型の体制を早急に検討するとの説明を受けました。
- 国民体育大会に向けて総合グラウンドと中学校の第2グラウンドを整備するとの状況説明があり、整備方針や受入体制等進捗状況を随時報告するよう求めました。
- 大淀・下御糸地区への明和町幼稚園・保育所・こども園3園方針の説明会報告があり、地域全体への周知や意見集約議会への住民意見や進捗状況報告を求めました。
- 平成29年度歴史的風致維持向上計画事業その他について説明があり、一部施行されたカラー舗装道路について施行方法や施工単価、施工後の変色などの質疑を行い、カラー舗装の先進施工自治体など状況を調査・研究し、委員会に報告するとの説明を受けました。

中学校建設工事基本設計業務 公募型プロポーザル結果について

公共施設等建設特別委員会

- 4月20日の委員会において、4月8日の第2次審査結果の報告と業者との基本設計業務委託について説明がありました。
- 審査の結果、「愛知県名古屋株式会社 青島設計」に決まったとの報告がありました。
- また、中学校を実際に使う教職員、子ども達、保護者や地域住民の意見を反映させたワークショップの充実及び、学校周辺の道路の安全面に関しても基本計画に盛り込んでいくとのことです。



新中学校イメージ図(明和町教育総務課提供)

第2回 定例議会〈6月13日～16日〉

さらなる防災力の向上を



地域防災懇談会の様子(上御糸)

6月定例会に提案された議案などは、全て原案のとおり可決しました。

こんなことが
行われました

- ◆(13日)
 - 諸般の報告・行政報告がありました。
 - ◆5人の議員が一般質問をしました。(詳細はP559)
- ◆(14日)
 - ◆総務産業・教育厚生常任委員会委員長が閉会中の所管事務調査の報告をしました。
 - ◆教育委員会委員の任命に同意しました。
 - ◆2件の専決処分した事件を承認しました。
 - 国民健康保険税条例の一部改正
 - 平成28年度一般会計補正予算(第6号)
 - ◆11件の繰越明許費計算書の報告がありました。
 - 平成28年度津波対策緊急整備事業(津波避難タワー建設事業)
 - 平成28年度個人番号カード交付事業
- ◆(15日)
 - 平成28年度国民年金電算システム改修事業
 - 平成28年度農業基盤整備促進事業
 - 平成28年度水産物供給基盤機能保全事業
 - 平成28年度中学校建設事業(フロポータル業務支援委託)
 - 平成28年度大規模改造(空調設置)事業
 - 平成28年度中学校建設事業(基本設計業務委託外)
 - 平成28年度歴史的風致維持向上計画推進事業
 - 平成28年度施設建設事業(宮川流域関連公共下水道事業工事請負費)
 - 平成28年度施設建設事業(伊勢市公共下水道建設事業負担金)
 - ◆2件の条例の制定を可決しました。
 - 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例
 - 教育委員会委員定数条例
 - ◆5件の条例の一部改正
- ◆(16日)
 - ◆平成29年度補正予算を可決しました。
 - ◆議会運営委員会委員長が閉会中の所管事務調査継続の申出をし可決されました。
 - ◆(16日)
 - ◆平成29年度補正予算を可決しました。
 - ◆議会運営委員会委員長が閉会中の所管事務調査継続の申出をし可決されました。
 - ◆(16日)
 - ふるさと寄附金条例
 - 税条例
 - 消防団員等公務災害補償条例
 - ◆水道料金債権の放棄について可決しました。
 - ◆平成29年度補正予算の説明がありました。
- ◆(16日)
 - を可決しました。
 - 個人情報保護条例
 - 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例
 - (16日)
 - エネルギー・環境問題および低炭素社会・地球温暖化問題の課題解決に向けての要望

要望書(配布)

5人の議員が町政を問う

Q&A 一般質問

国史跡齋宮跡の保存管理を問う

樋口 文隆 議員

答 県へ要望していく



問 発掘調査について、本年3月に示された中長期的方針について、その内容をお聞きしたい。

町長 史跡齋宮跡の実態解明の重点方針として①初期齋宮の解明（竹川西部地区）、②最盛期の齋宮の解明（中町東部地区）、③衰退期の齋宮の解明（齋宮小学校周辺）の3つを位置づけ、当面齋宮歴史博物館南部の近鉄線路沿いの初期齋宮の解明を優先的に調査するとされている。

問 発掘調査、中・長期的方針に基づく今後の整備のあり方について、管理団体としてどう受けとめるか。

町長 本格的整備は発掘調査の成果に基づきなされるが、解明には時間を要するので、町としては史跡東部の中町地区へ回遊できるよう復元道路の整備と公有地に植栽ゾーンを設け暫定整備も考えられ、県へ要望していきたい。

問 維持管理費も年々累積し、今後増大の一途をたどり当町の財政力に極めて厳しい状況も予測される。この財政上の課題をどのように検討されるか。

町長 施設使用料の徴収を行っているが、来訪者に向けてサイクリング事業やVRの貸出、古代衣装体験などの収益事業を進めていくほか、維持管理協力金の徴収や募金的な呼びかけも行うことで、維持管理費の削減に繋げるとともに、財政支援についても県へ粘り強く要望していきたい。

問 保存管理上の課題として整備には「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」が求められるが、その整合性をどう図るか。

町長 史跡整備の在り方と来訪者に対する対応の在り方について、どのように整合性を図るか専門家の意見も聞き、少し検討させていたいただきたい。

問 保存管理計画書も策定され37年間の経過している。管理団体として見直しを検討しないのか。

町長 現在の事業との兼ね合いもあるので、即、見直しに着手するということ考えは持っていない。



「さいくう平安の杜」の今後の管理は（齋宮跡・文化観光課提供）

※ミニかいせつ

○VR…Virtual Reality（バーチャルリアリティ・仮想現実）の略称。

明和町の教育行政課題を問う

北岡 泰 議員



答 有効な施策の実施を検討していく

問 新学習指導要領のこれまでとの違いと教育委員会としての取り組み、来年度からの幼稚園教育に対する進捗状況及び議会への報告日程、現場教員との調整を含めた全体観を示すべき。

教育長 改訂の大きなものの一つとして、小学校5・6年生で英語が教科化となった。多気郡の指導主事会が中心となって平成30年度からの先行実施をすべく進めている。幼稚園教育要領の改訂に対しては、県の説明会も予定されていることからそれを踏まえて対応していく。議会には、9月議会を目標に報告をしていきたい。

問 教育現場における教員の過重労働について、教育委員会の取り組みにおける現状と課題は何か。

教育長 新学習指導要領でも、新たに学校に要求されてくるものがあるなど、労働時間の削減が厳しい状況にある。特に中学校では部活動の関係もあり削減が厳しいが、県が数値目標を示してきているので、それに準じて削減を目指すよう各学校には話しをしている。

問 「大規模ごとも調査」のデータによる、ごともと大人の意識格差をどう読み取るか。

教育長 調査結果で、子どもと保護者や教員との評価に差があるというのにはある意味当然の結果だと思う。親など大人が子どもに期待するところはどうしても高いところとなってしまうものである。それよりも「負けず嫌い」「最後まであきらめなく」と自己評価した子どもたちが多くいたことは喜ばしいことだと思ってる。

問 三重県内公立学校の児童生徒問題行動調査による、現状と課題及び対策は何か。

教育長 学校を中心に予防も含めて対応をしてもらっている。教育委員会としても「いじめ問題対策連絡協議会」を立ち上げるなどしてきたが、今後も有効な施策の実施を検討していきたい。

問 町内教育施設におけるトイレの現状と時代にあった洋式化改善計画、及びLGBTや性同一性障がい児童生徒に対する対応を中学校の設計に生かすべき。

教育長 トイレ洋式化の中長期的な整備計画に努めたい。LGBT対応はバリアフリー同様、学校現場と調整を図っていき

問 ガン教育に対する現状と課題及び対策は。

教育長 保健の授業などの中でガンを含めた生活習慣病の予防などを学んでもらっているが、ガンに特化した授業としてはまだ行っていない。ガン教育については、推進される方向となってきたことから、文部科学省が作成した「教材指導参考資料」なども参考にしながら、発達段階に応じた教育をどのように行っていくかを検討していきたい。

問 学校図書館、町立図書館の現状と課題及び対策を、これからの教育施設作りを生かすべき。

教育長 学校現場では授業での利用が高いため、町立図書館と連携し、図書を活用を図りたい。町立図書館は図書館ネットワークを通じ、図書の取寄せも行っている。なお、今後は中学校改築等で課題を整理し、対策を図っていきたい。



明和中学校建設工事基本設計第1回ワークショップ(6/17)

安心して暮らせる町づくりを

松本 忍 議員

答 鋭意、取り組む



問 ため池の耐震調査について、今後の調査及び対策が必要な箇所について、それにかかる改修工事の計画は。

町長 ため池の一斉点検で「直ちに改修が必要な池」はなかったものの、8箇所内、4箇所ですべて「改修の検討が必要」との結果であった。今後の予定として、平成30年度に詳細調査と耐震診断を。その結果を踏まえ、改修計画を立てていく考えである。

問 イノシシの駆除に対して、報奨金を出してはどうか。
また、猪から農地を守るため、防護柵の設置に補助金を出してはどうか。

町長 当町での生息数は、捕獲での費用に不足が生じることなく、委託費は適正な範囲と考えている。ただ、より効果的な捕獲に繋がるよう報奨金制度は今後の検討課題とする。

防護柵の設置は、自己防衛として有効な手段であるが、被害が近隣のほ場へと移ってしまうという側面もあり、地域ぐるみで取り組みないと被害の軽減にはつながらない可能性もあり、慎重に検討する必要がある。

問 仕掛けわなの免許保有者を増やしていくにあたり、免許取得者への費用の補助をしてはどうか。

町長 イノシシの生息数の増加予測と資格保有者の方々の高齢化が進んでいることも否めず、今後の担い手不足を危惧している。そのため、町として独自の補助が出来るよう前向きに検討していく。

問 幹線排水路・準幹線排水路の管理は町が行なうべきではないのか。

町長 昭和63年2月に、当時の町内5地区の土地改良区と明和町の協議により幹線排水路の指定がされた。また、その後の覚書なども踏まえつつ、今後の維持管理について明和土地改良区との協議を重ねて行きたい。

問 明星地区県営ほ場整備事業幹線排水路の下流の管理主体はどこか。また、今後の管理は。

町長 三重県から明和町へ財産譲渡及び移管がされている。現在の土砂の堆積と「ミヤ草木の繁茂における対応については、今年度内に浚渫と清掃除草を実施する。

問 空き家を、明和町と包括連携協定を結んでいる皇學館大学の学生たちの居宅としての利用はどうか。

町長 空き家の利活用のひとつのご提案と受け止めていただくと。



町民バスの乗り継ぎ地点の検討を

問 町民バスの時刻表を変更するにあたり、乗り継ぎ地点を、現在の『役場』から北部は『中村の商用施設』、南部は『有爾中・蓑村の商用施設』にはできないのか。

町長 今後、アンケートも実施し、各バス停の利用状況も精査する中で、一部路線の見直しも含め、総合的に考えていく。



幹線排水路最下流の管理を

高齢者の命の守り方を問う

江 京子 議員

答 関係機関と連携し取り組む



問 徘徊SOSネットワークの現状と課題、捜索願が出たときの動きは。

町長 登録人数は、平成29年5月末現在、21人。メール配信協力者数は、松阪市と多気郡3町合わせて1,021人、見守り協力機関は、31機関である。家族等から警察署に「行方不明者届」が提出された場合、警察署または家族は、地域包括支援センターへ連絡。地域包括支援センターは、メール協力機関等に行方不明者の情報をメール配信して、情報提供の協力を求めることとする。

問 認知症サポーター養成講座の取り組み、中学校での取り組みは。

町長 認知症サポーター養成講座は、平成20年度から実施しており、受講者数は、平成28年度末現在で1,490人。認知症を分かりやすく学ぶ方法として、認知症サポーター養成講座があるので、これからも、小学校・中学校で開催できるよう働きかけたい。

問 サービス付き高齢者向け住宅の利用状況、また住宅を選ぶときの留意点は。

町長 この住宅は、町内に8住宅ある。利用状況は、平成29年5月末現在8住宅合わせて入居者数246人。その内、町内で住み替えをした人は85人、町外からの入居者は161人である。

様々なタイプの住宅があり、提供されるサービス内容などは、それぞれの住宅で異なるため、県が公開している登録情報を閲覧し、住宅間での比較検討をして、さらに事業者の説明を十分に受けて、自分に合った住宅を選ぶことが重要である。

問 配食サービスを受けるにあたっての利用者への説明の方法について。

町長 配食サービス利用の要件を満たし、利用したいと希望された方には、利用に当たっての誓約書に記載された内容をご理解いただいた上で、誓約書を提出していただくよ

う説明している。

問 改正道路交通法が施行されたが、生活の移動手段を失った高齢者の引きこもりが心配である。認知症にならないための講座はあるのか。

町長 介護保険の新総合事業では、要支援の方や生活機能が低下傾向にある方には、10月開始の「おとなチャレンジ教



「徘徊SOSネットワークまつさか」

室」、65歳以上の全ての人が利用できる一般介護予防事業としては、4月から開始している「えんがわお元気教室」、10月開始の「筋力・脳力あっぷ教室」がある。

また、認知症の人や家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」、「認知症地域支援推進員」の配置や、「認知症ケアパス」の作成に、取

問 免許証返納後の相談窓口はどこに行けばよいのか。

町長 地域包括支援センターにご相談いただきたい。今ある福祉サービスや地域にある資源を利用して暮らしていけるように、一緒に考えていき

新しい高齢者見守りモデル「徘徊SOSネットワークまつさか」
徘徊SOS見守りメールの配信先にご登録を!
携帯又はパソコンに配信します。

明和町では、認知症の高齢者が行方不明となられたとき、地域の皆さまのご協力で早期発見・保護につながるよう、携帯等へのメール配信による見守りをはじめました。

この「徘徊SOS見守りメール」を受信するには、登録が必要です。登録は無料です。
※ただし携帯機器やメール通信費用等は登録者の負担となります。

認知症の方(事前登録済)に、早期発見に役立つ靴に貼る黄色シールを贈呈

徘徊SOS見守りメールの配信先にご登録を!
(明和町長寿健康課提供)

自治会の現状と今後について

中井 啓悟 議員



答 自治会への加入を促進していく

問 高齢化率の高い自治会では自治会運営が成り立たないという話を聞くが、明和町においての実態は。

町長 団地などでは、開発当時に入居し、時が経過するにつれて高齢化が進んでいる。世帯が多い自治会は、現在は世代交代がうまくいっているが、後々には清掃作業などの自治会行事に参加できる方が少なくなり、人手不足や役員の手がなくなる懸念される。

問 自治会未加入世帯の状況について、未加入世帯割合の傾向と現在の状況、加入促進は。

町長 未加入世帯は推定であるが300世帯程と思われる。自治会への加入は住民の自由意志であり、転入の際などに、できる限り加入をお願いしている。

問 未加入世帯について、ゴミ出し等、ご苦労されている方がいるのでは。またその対応は。

町長 やむを得ず自治会に未加入の方は、可燃ごみは許可証を発行する形で役場が指定する集積所を利用していただいている。リサイクル資源は役場東側に未加入者用のリサイクルステーションを設けている。

明和町の特産品をお贈りします

明和町へふるさと寄附（10,000円以上）いただいた町外在住の方へ、感謝の気持ちとして特産品の中からご希望の1点をお届けします。



ふるさと寄附 明和町特産品の一例
(明和町防災企画課提供)

明和町のふるさと寄附の現状と今後について

答 返礼品の見直しを図る

問 制度発足から現在までの寄附件数、寄附額は。

町長 平成20年度から9年間の合計は、1万6,075件、4億4,493万5,101円のご寄附をいただいた。

問 住民税への影響は。

町長 明和町民が行った全国への、ふるさと寄附は、2,018万円で、減税額は870万円。当町への寄附との差額は2億9,716万円の黒字であった。

問 4月1日に総務省から全国の自治体に、返礼品の仕入れ価格を、寄附額の3割以下に抑えるよう、合わせて換金性の高い宝飾品や美術品などをふるさと納税制度の趣旨違反として贈らないよう通知が出されているが、明和町の現状と今後の対応は。

防災企画課長 通知内容に該当すると考えられる返礼品の見直しを図る。第一に、昨年8月から開始した「ふるさなびグルメポイント」は、当面5月1日からポイントを3割に引き下げているが廃止について検討する。第二に、その他の返礼品は、返礼割合を5割から3割以下に抑えられるよう、各事業者の皆様と調整中である。

傍聴に来ませんか！



平成29年 第3回定例会

明和町議会



傍聴席から

9月11日月～
21日木

一般質問は11日、12日を予定しています。
(変更の場合あり)

詳細は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

連絡先：明和町役場議会事務局
明和町馬之上945
0596-52-7122

Q

福祉関連事業の取り組み強化のため、明和町に福祉事務所の開設を求める。

A

福祉事務所の設置には、色々な課題があるが、設置に向けて努力する。

こ

うなりました

多気度会福祉事務所と連携を図りながら、福祉関連事業の取り組みの強化を図っているところですよ。

Q

全国どこの市町村も実施していない「個人住宅等の下水道事業接続に関する取り扱い要綱」について、個人申請者に対し町が工事費最大750万円を負担するメリットは。

A

下水道施設事業が終了した地域では、個人負担で本管工事費を実施しなければならぬので、個人負担軽減を目的としている。

こ

うなりました

当制度に対する問合せでは、平成28年度中6件あったが、実施の実績はない。引き続き対象者に対して情報提供していきたい。

1年前の一般質問

このページは、1年前の一般質問がその後どうなったかを皆様にお知らせするものです。

このページの見方は

- Q (一般質問の主な内容)
- A (Qに対する町長などの答弁の内容)
- こ (現在の取り組み状況や結果など)

シリーズ
第73回

その後、どうなった？

～平成28年6月定例会より～

Q

平成28年6月現在は2台で運行している町民バスだが、今後台数及び本数を増やしていく考えは。

A

路線を見直し、所要時間の短縮を図り、1台運行車輛及び本数の増加を図る。

こ

うなりました

バス車輛の台数を3台に増やし、路線や時刻表の見直しを行い、平成28年10月から運行を始めています。

Q

地震から命を守る住宅シエルターの補助対象への追加を。

A

住宅全体を簡易に補強していただくことを推奨していく。

こ

うなりました

耐震シエルターは一室の安全確保のためのものであり、当面は家屋全体の簡易耐震補強を推進していく。

Q

斎宮平尾・東野地区の自転車通学路である明和中央線への信号機の設置は。

A

交差点の現状が要件に合っていないことから設置に至っていません。

こ

うなりました

警察の予算と交差点の構造上の案件から、なお実現に至っていません。引き続き、要望していきます。

みんなの広場



天狗倉山にて

楽しい山歩き

「ウワー」「スゴイ」
山頂に着くや歓声が。
絶壁の眼下には、尾鷲
市や熊野灘が広がり吸い
込まれそう。急登の苦し
さも一気に吹き飛ばさ
の爽快感！地域で夫々に
ウォーキングをしている
姿を見て声をかけたのが
最初で一年前でした。
メンバーは、初心者か
らアルプス経験者までの
10名程。近隣の市町に月
一回が目標で、他は日頃
の心がけでしょうか。
健康寿命を少しでも伸

ばして元気に老後を過ご
したい。それなら運動器
の低下予防をと山行を
楽しんでいきます。今回は
天狗倉山。新緑の尾根で
ウグイスの歌声やピンク
のツツジに迎えられ、大
自然の中で心身共にリフ
レッシュ。又、思わぬ出
会いや発見も魅力の一
つ。「初めはえらかった
けど今は平気」「腰痛も
治ったわ」と云うおまけ
の声も。

本郷 山ガールズ



4月

- 10日 議会だより編集特別委員会
(No.164第2回校正)
- 20日 公共施設等建設特別委員会
全員協議会(各課報告について)

5月

- 8日 議会運営委員会
(6月定例会について)
議会懇談会調整会議
- 18~ 教育厚生常任委員会視察研修
- 19日
- 25~ 総務産業常任委員会視察研修
- 26日

6月

- 5日 教育厚生常任委員会協議会
(6月定例会について)
総務産業常任委員会協議会
(6月定例会について)
- 8日 議会運営委員会
(6月定例会について)
全員協議会(6月定例会について)
議会懇談会全体会議
議会だより編集特別委員会
(No.165全体計画)
- 13日 第2回定例議会開会(一般質問)
議会運営委員会(全員協議会及び公
共施設等建設特別委員会について)
- 14日 本会議
- 16日 第2回定例議会閉会
全員協議会(各課報告について)
- 18日 議会懇談会(斎宮地区)
- 23日 議会懇談会(下御糸地区)
- 24日 議会懇談会(明星地区)
- 25日 議会懇談会(大淀地区)
- 28日 公共施設等建設特別委員会
- 30日 議会だより編集特別委員会
(No.165第1回校正)



視察先: 宿泊・体験型グリーンツーリズム施設
「秋津野ガルテン」(和歌山県田辺市)

編集室から

日本遺産として明和町の「祈る皇女斎王のみやこ斎宮」が認定され3年目を迎えます。
まず認定をされました箇所では、整備が進められています。
斎宮史跡の周辺に、いつきのみや地域交流センターが今年3月に完成しました。交流センター周辺の公園も本年度には整備されます。
町民の皆様におかれましては、ぜひ「祈る皇女斎王のみやこ斎宮」周辺を散策され、明和町のアピールをしていただければありがたいと思います。

地域交流センターはもっと知りたい、学びたい！そんな気持ちに込めるおすすめの施設です。
最後になりましたが、皆様方の貴重なご意見を、議会だより編集特別委員会へいただきますようによろしくお願いいたします。

お問い合わせは

議会だより編集特別委員会

☎071-222(直)

(議会事務局内)